

【閉校について】

府中地区医師会准看護学院は、令和5年3月をもって閉校することとなりました。

本学院は、教育方針である「社会の要望に応え得る准看護師」の養成を目指し、昭和22年に前身の府中病院付属看護婦養成所設立以来2400名を超える卒業生を輩出してまいりました。卒業生は、現在も府中地区医師会管内をはじめ、多くの医療機関において地域医療を支える一員として立派に活躍しております。

しかしながら、近年の入学生の大幅な減少により学院の運営継続が困難となり、令和4年度以降の学生募集を停止し、閉校することとなりました。

これまで長きにわたり、本学院の教育にご理解、ご協力賜りました皆様方には深く感謝し、御礼申し上げます。

なお、最後の学生を送り出すまでは、これまで通り全力で学生を支援してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

府中地区医師会准看護学院
学院長 内藤 賢一